

2025年 4月 10日

2024年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 東大和・戦災変電所を保存する会

代表者・役職名 氏名小須田 廣利

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクトの名称

旧日立航空機変電所の「変電所と平和の歩みの物語」の資料収集と物語づくりと体制づくりのスタートプロジェクト

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。 会員数など。180文字程度まで)

東大和市の都立東大和南公園内には、被弾した建物が文化財(戦争遺跡)として残されています。この建物は、取り壊される予定でしたが、東大和市民が、市や東京都などの行政を動かし保存されました。この活動に関わって来た市民有志が、変電所が残されたとはいえ課題も多くあり、2015年6月に再発足させ平和活動を継続し現在に至っています。会員は20名毎月1度集まります。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

戦争を知る世代が少なくなり平和の精神を伝えることが難しくなってきています。その伝承に貢献するための教材をつくり、継続的で社会に根付く地に足の着いた平和活動・社会活動が求められていると思いプロジェクトを立ち上げることを思い立ちました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

軍都多摩の工場の歴史などの資料収集を行い、あわせて公民館活動から始まる戦災変電所の保存活動の経緯と当会の活動の記録を整理したうえで、A4版100ページ程度の小冊子「東大和・戦災変電所と平和の歩み 活動記録」にまとめ、関係者に配布するとともに変電所を訪れる方を含めた多くの人に平和の尊さを伝えるための教材にする。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

成果品としての「東大和・戦災変電所と平和の歩み活動記録」は3月末に完成した。予定通りA4版102ページ(含む表紙4P)のフルカラーの冊子です。戦災変電所内にて、訪問者にこの冊子を見ていただき、この変電所の保存に関わった方々の話をするとよく残してくれたとの反応が多く聞かれます。この冊子は、変電所の残す意義を多くの人たちに知っていただくことで、今後の平和活動に大きく寄与する教材になると確信できます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回のプロジェクトを通して、会の平和活動の記録を残す重要性を強く感じた。更に、今後、東大和だけでなく、多摩地区というより広い視点で過去の歴史を見る必要を感じている。できれば、次回のプロジェクトでこの観点でのプロジェクトに取り組んでみたい。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。

